2024(令和6)年度
刈谷市美術館年報

ごあいさつ

1983(昭和58)年6月の開館以来、刈谷市美術館では、多彩な展覧会の開催、講演会やワークショップなど教育普及活動の実施、美術品等資料の収集といった、美術館活動の充実と向上に努めております。

2024(令和6)年度は、2つの企画展を開催しました。「new born 荒井良二　いつも しらないところへ たびするきぶんだった」では、絵本だけでなく、絵画、音楽、舞台美術にまでおよぶ荒井の幅広い活動を紹介しました。「宇野亞喜良展 AQUIRAX UNO」では、日本を代表するイラストレーター・グラフィックデザイナーである宇野の全仕事を紹介し、その華麗で耽美な創作世界に迫りました。また、企画展の関連イベントとして、講演会やギャラリートークなどの教育普及活動も展開し、いずれの事業も好評を得ることができました。

コレクション展では、「New Collection展　新収蔵作品を初公開！」をはじめ、多様な視点と価値観から当館コレクションを紹介するテーマ展を4回開催しました。

また、当館のもうひとつの役割である、地域の皆さまの作品発表の場としてのギャラリー展では、個展や各美術団体展をはじめ、市内の子どもたちの学習の成果を発表する「刈谷っ子ギャラリー」や「ちびっこ絵画展」が開催されるなど、大変多くの方々にご利用いただきました。

ここに、2024(令和6)年度の刈谷市美術館の活動状況をまとめました。この年報を通して、当館の運営に一層のご理解をいただければ幸いに存じます。

刈谷市美術館

目 次

1 …… ごあいさつ

3 …… 沿革

4 …… 企画展 「new born 荒井良二　いつも しらないところへ たびするきぶんだった」

6 …… 企画展 「宇野亞喜良展　AQUIRAX UNO」

8 …… コレクション展 「New Collection展　新収蔵作品を初公開！」

8 …… コレクション展 「没後20年　杉本健吉展」

9 …… コレクション展 「生誕150年　和田英作展」

9 …… コレクション展 「おしゃべりな絵？！」

10 …… 教育普及活動

13 …… ギャラリー展

15 …… 利用状況

17 …… 作品の収集

21 …… コレクションの貸出実績

22 …… 設備・施設の概要

23 …… 平面図・組織図

24 …… 刈谷市美術館条例

26 …… 刈谷市美術館条例施行規則

沿革

1980(昭和55)年度	実施設計(株式会社大建設計名古屋事務所)
1982(昭和57)年度	起工式(1.18)
1983(昭和58)年度	建設工事竣工(4.18)
	開館(6.11)
1984(昭和59)年度	開館からの総入館者数10万人達成
1986(昭和61)年度	初の有料企画展開催
1988(昭和63)年度	作品購入基金の積立開始
1989(平成元)年度	美術系学芸員の初採用
1990(平成２)年度	作品購入予算を一般会計に計上、作品収集活動を本格的に開始
1993(平成５)年度	開館10周年、開館からの総入館者数100万人達成
1995(平成７)年度	博物館相当施設となる
1996(平成８)年度	美術館連絡協議会加盟
1997(平成９)年度	全国美術館会議加盟
	施設改修工事(工期:1997.6.23～12.19)
2003(平成15)年度	開館20周年、開館からの総入館者数200万人達成
2011(平成23)年度	施設改修工事(工期:2011.9.5～2012.2.21)
2013(平成25)年度	開館30周年、開館からの総入館者数300万人達成
2015(平成27)年度	施設改修工事(工期:2015.11.4～2016.2.29)
2023(令和5)年度	開館 40 周年記念「 PLAY BACK : 1983-2022 」を開催
2024(令和6)年度	開館からの総入館者数400万人達成

企画展

new born 荒井良二　いつも しらないところへ たびするきぶんだった

2024(令和6)年4月20日(土)～6月15日(土)

日本人として初めてアストリッド・リンドグレーン記念文学賞を受賞するなど、世界的な評価を受ける荒井良二(1956年- /山形県生まれ)。絵本だけでなく、絵画、音楽、舞台美術にまでおよぶ幅広い活動の中から、「これまで」と「これから」を語る作品たちを荒井自身が再構成し展示しました。

展覧会チラシ 表

入場者数　12,300人
開催日数　50日間
会場　美術館全館、佐喜知庵
入場料　一般1,100円、学生800円　※中学生以下無料
主催　刈谷市美術館、朝日新聞社
協力　偕成社、積水ハウス、宮本武典
後援　愛知県教育委員会

■ 会期中のイベント　→ 詳細はp.10へ
4月20日 「公開制作」
5月3日 「荒井良二と物語を汲み出す人」
5月9日・23日 「学芸員によるギャラリー・トーク」

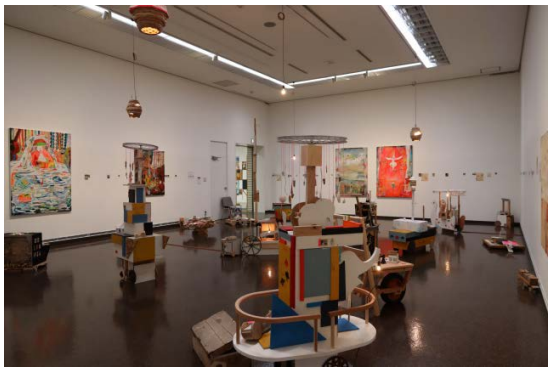
■ 主な展覧会評等
宮崎正嗣「前に向かって〝逃げる〟 荒井良二さん個展「new born」」『中日新聞』 2024年5月10日付

■ new born 荒井良二　図録
編集　横須賀美術館、千葉市美術館、刈谷市美術館、朝日新聞社
執筆　荒井良二、宮本武典
構成・デザイン　小板橋基希(akaoni)
印刷・製本　光村印刷
発行　朝日新聞社
サイズ　26.2×18.6cm、392ページ
価格　4,200円

図録 A 表紙

図録 B 表紙

■ 会場風景



【茶室・佐喜知庵】展覧会オリジナル和菓子「空（くう）食う。」

宇野亞喜良展　AQUIRAX UNO
2024(令和6)年9月14日(土)～11月9日(土)

日本を代表するイラストレーター、グラフィックデザイナー・宇野亞喜良(1934年- /名古屋市生まれ)は、1950年代初めのデビュー以来、イラストレーション、ポスター、絵本、書籍、アニメーション映画、絵画、舞台美術など、多彩なジャンルで活躍し続けています。本展では、初期から最新作までの全仕事を紹介し、時代を超越した宇野の華麗で耽美な創作世界に迫りました。

展覧会チラシ 表

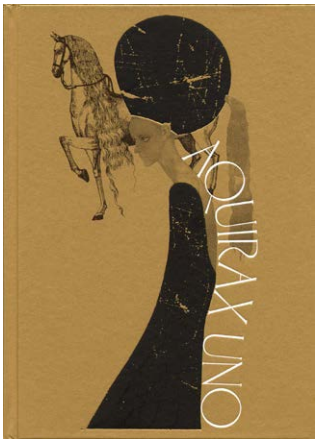
入場者数　17,358人
開催日数　49日間
会場　美術館全館
入場料　一般1,100円、学生800円　※中学生以下無料
主催　刈谷市美術館、朝日新聞社
後援　愛知県教育委員会

■ 会期中のイベント　→ 詳細はp.11へ

9月25日、10月2日・9日・16日・23日・30日、11月6日　「学芸員によるギャラリー・トーク」
10月5日　「宇野亞喜良展をめぐるデザイン・トーク」
11月3日　「文化の日はナイト・ミュージアム」
※9月28日に予定されていた「講演会　ぼくのイラストレーション史（ライブ中継）」は、宇野亞喜良氏の体調不良のため、中止となりました。

■ 宇野亞喜良展 AQUIRAX UNO　図録

監修　松本育子(刈谷市美術館)
執筆　宇野亞喜良
　　松本育子(刈谷市美術館)
　　瀧上華(東京オペラシティ アートギャラリー)
　　野澤広紀(群馬県立館林美術館)
デザイン　大島依提亜
編集　朝日新聞社
印刷　TOPPANクロレ
発行　朝日新聞社
サイズ　26.3×18.8cm、398ページ
価格　4,400円



図録表紙

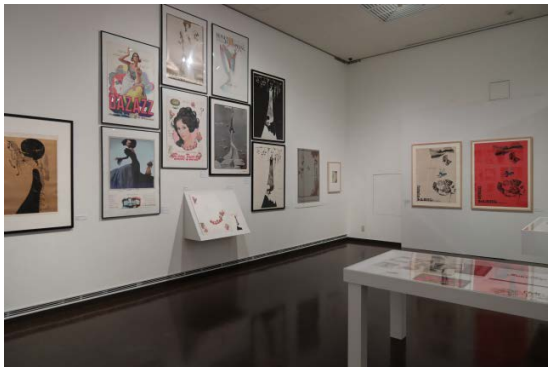
■ 出品リスト

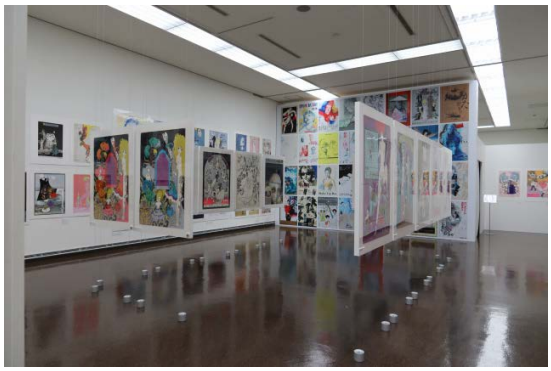
刈谷市美術館ホームページをご確認ください。
トップページ ＞ 展覧会 ＞ これまでの展覧会 ＞ 令和6年度の展覧会（2024年4月から2025年3月）
https://www.city.kariya.lg.jp/museum/exhibition/kakoten/1020063.html

■ 主な展覧会評等

上手裕紀子「活動多彩　画業の全容探る」『朝日新聞』　2024年9月20日付

■ 会場風景



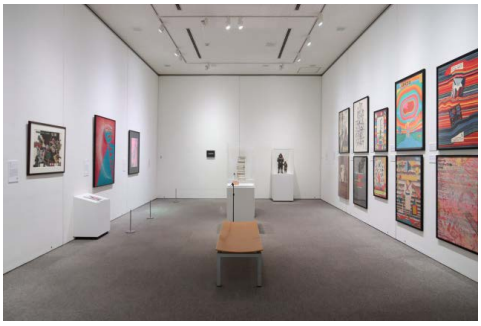


【茶室・佐喜知庵】展覧会オリジナル和菓子

コレクション展

各展の出品リストは、刈谷市美術館ホームページをご確認ください。
トップページ > 展覧会 > これまでの展覧会 > 令和6年度の展覧会（2024年4月から2025年3月）
https://www.city.kariya.lg.jp/museum/exhibition/kakoten/1020063.html

New Collection 展　新収蔵作品を初公開！
2024（令和6）年6月20日（木）～7月21日（日）



2023年度の収集作品の中から、愛知ゆかりの稲葉桂、中村正義、河原温の絵画をはじめ、現代美術家の野口哲哉の立体、栗津潔が手がけたグラフィックデザインなど、バラエティー豊かな作品をお披露目しました。また、戦後の前衛作家・芥川紗織（1924-66年/豊橋市生まれ）の生誕100年を記念し、当館収蔵品を特別公開しました。

入場者数　5,545人
開催日数　28日
会場　特別展示室
入場料　無料

没後20年　杉本健吉展
2024（令和6）年7月26日（金）～9月1日（日）

軽妙洒脱な作風で人々から愛されてきた洋画家・杉本健吉（1905-2004年/名古屋市生まれ）。本展では、古都奈良の風景や身近な草花などを描いた作品をはじめ、各地を旅して重ねたスケッチなどを紹介し、その味わい深い作品世界を振り返りました。

入場者数　6,944人
開催日数　32日
会場　特別展示室
入場料　無料

生誕150年　和田英作展
2024(令和6)年11月16日(土)～2025(令和7)年1月19日(日)

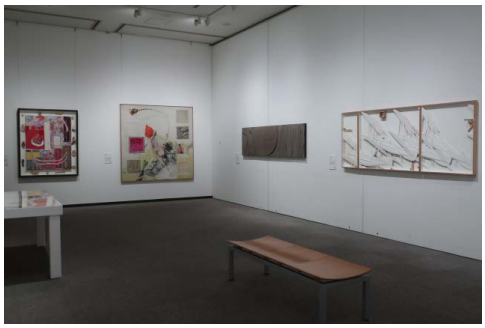
明治から昭和にかけて活躍した日本近代洋画界の重鎮、和田英作(1874-1959年/鹿児島県生まれ)は、晩年にあたる1945年から6年間、知立市に滞在し、当地の長閑な風景画や静物画を描きました。本展では、知立時代の作品を中心に、明治期の初期作や最晩年の作品なども紹介しました。

入場者数　15,182人
開催日数　40日
会場　特別展示室
入場料　無料

おしゃべりな絵？！
2025(令和7)年1月25日(土)～3月16日(日)

おしゃべりな絵ってどんな作品なのでしょう？物語の一場面や夢の世界を想わせる作品、実際の出来事から着想を得た作品など、見る者の想像をかきたてるような作品を紹介しました。

入場者数　6,866人
開催日数　42日
会場　1階展示室
入場料　無料



教育普及活動

企画展に合わせた講演会やワークショップに加え、夏休みと春休み期間に未就学児から中学生までを対象にしたワークショップを行いました。

■ new born 荒井良二　いつも しらないところへ たびするきぶんだった

公開制作

美術館隣の茶室・佐喜知庵に展示する襖絵を公開制作しました。

日時　4月20日(土)　14：00～15：30
会場　1階ロビー
参加費　無料
参加人数　126人

荒井良二と物語を汲み出す人

新作インスタレーションをモチーフに、参加者全員が物語を編んでいきました。

日時　5月3日(金・祝)　15：30～19：30
講師　荒井良二氏
　　宮本武典氏(キュレーター、東京藝術大学准教授)
対象　中学生以上
会場　研修室、展示室
参加費　無料
参加人数　24人

学芸員によるギャラリー・トーク

日時　5月9日(木)・23日(木)
　　14：00～　40分程度
会場　展示室
参加費　無料
参加人数　計80人

■ 夏のワークショップ

巨大クモの巣をつくろう

長いヒモで部屋中をかざりつけ、クモの巣のような部屋をつくって遊びました。

日時　8月10日(土)・20日(火)
　　10：00～11：30
講師　野村純世氏(画家)
対象　年少～年長児
会場　研修室
参加費　200円
参加人数　計38人

ふって、たらして、描いてみよう！

釣り竿に絵の具をぶら下げて、ポタポタ垂らしながら描きました。

日時　8月10日(土)　13：00～15：00
講師　山口百子氏(美術家)
対象　小学1～3年生
会場　研修室
参加費　200円
参加人数　13人

なんでも包もう！～新聞紙でできた世界

机や椅子、コップやお皿など、身近なものを新聞紙で包み、不思議な世界をつくりました。

日時　8月20日(火)　13：00～15：00
講師　加藤真浩氏(彫刻家)
対象　小学4年生～中学生
会場　研修室
参加費　200円
参加人数　11人

■ 宇野亞喜良展　AQUIRAX UNO

学芸員によるギャラリー・トーク

日時　9月25日(水)、10月2日(水)・9日(水)・16日(水)・23日(水)・30日(水)、11月6日(水)
14：00～15：00
会場　展示室
参加費　無料
参加人数　計356人

宇野亞喜良展をめぐるデザイン・トーク

本展図録やポスター等を手がけた大島さんに、デザイン意図や宇野作品の魅力を語っていただきました。

日時　10月5日(土)　14：00～15：30
講師　大島依提亜氏(デザイナー)
松本育子(当館館長代理、本展監修者)
会場　研修室
参加費　無料
参加人数　82人

文化の日はナイト・ミュージアム

昼間とは印象が異なる夜の美術館をお楽しみいただきました。

日時　11月3日(日・祝)　17：00～20：00

■ 春のワークショップ

さらさらキラキラ 雨の中で何をする？

紙に絵の具をたらして、カラフルな雨の世界を想像しながら楽しく描きました。

日時　3月23日(日)・27日(木)　10：00～11：30
講師　野村純世氏(画家)
対象　年少～年長児
会場　研修室
参加費　200円
参加人数　計47人

カラフル・ワンダーランド

絵の具を使って色を重ねて、だれも見たことがない植物を描きました。

日時　3月23日(日)　13：00～15：00
講師　山口百子氏(美術家)
対象　小・中学生
会場　研修室
参加費　200円
参加人数　18人

ヘンテコ令和土偶！

粘土を使ってオリジナルの土偶づくりに挑戦しました。

日時　3月27日(木)　13：00～15：00
講師　加藤真浩氏(彫刻家)
対象　小・中学生
会場　研修室
参加費　200円
参加人数　22人

ギャラリー展

展示室は、絵画、写真、彫刻、工芸、書など、創作活動の発表の場としてもご利用いただいています。

No	展覧会名	会期	日数	会場	入場者数
1	山崎隆行+合同写真展 '24	4/2～4/7	6	第1,2,3展示室	580
2	植物画教室 生徒展	4/9～4/14	6	第2展示室	275
3	フォト・四季 写真展	4/9～4/14	6	第3展示室A	297
4	令和6年度 刈谷文協美術展	6/19～6/30	11	第1,2,3展示室	2,786
5	第41回 女流展	7/2～7/7	6	第1展示室	456
6	清水光寛作品展	7/3～7/7	5	第2展示室	304
7	中日写真クラブ刈谷 写真展	7/2～7/7	6	第3展示室A	395
8	第33回 きりえ ペーパーみんと展	7/9～7/14	6	第1展示室	292
9	形象派チャレンジアート展 2024	7/17～7/21	5	第1展示室	385
10	(刈谷)楽描きサークル	7/17～7/21	6	第2展示室	316
11	チェンソーアート作品展	7/17～7/21	6	第3展示室A	293
12	ラ・ヴァレー展	7/23～7/28	6	第1展示室	442
13	第28回 彩遊会絵画展	7/23～7/28	6	第2展示室	931
14	美参会&一線美術愛知支部展	7/23～7/28	6	第3展示室	910
15	丸の会 100人100色展	7/31～8/4	5	第1展示室	800
16	第64回 彩日会展	7/30～8/4	6	第2,3展示室	1,005
17	G.ドローイング奏	8/6～8/11	6	第1展示室	362
18	第21回 碧海会作品展	8/6～8/11	6	第2展示室	404
19	会派を超えた 第11回 CMD絵画展	8/6～8/11	6	第3展示室	449
20	みんなでつくる芸術祭 2024	8/14～8/18	5	第1展示室	376
21	テニアン・ギフト	8/16～8/18	3	第3展示室B	40
22	第29回 央美会展	8/20～8/25	6	第1展示室	420
23	水彩画同好会展	8/20～8/25	6	第2展示室	451
24	奥谷直道「じぃじ」の写真展	8/20～8/25	6	第3展示室A	423
25	刈谷はがき絵グループと青生会 合同作品展	8/27～9/1	6	第1展示室	453
26	フォトクラブ 彩り 第5回写真展	8/27～9/1	6	第2展示室	424
27	かな書道 空の会	8/29～9/1	4	第3展示室	452
28	第46回 西三河平和美術展	9/4～9/8	5	第2,3展示室	562
29	令和6年度 刈谷市民文化祭美術展	11/13～11/24	11	第1,2,3展示室	2,991
30	第27回 墨親会水墨画展	11/26～12/1	6	第1展示室	1,328
31	ぼくの、わたしの作品展 東刈谷絵画教室	11/27～12/1	5	第2展示室	269
32	刈谷地区トヨタグループ写真展	11/26～12/1	6	第3展示室AB	533
33	第31回公募 文化書道愛知友心会書道展	11/26～12/1	6	第3展示室C	259

No	展覧会名	会期	日数	会場	入場者数
34	第6回 革工芸作品展 Leather craft in Kariya	12/3～12/8	6	第1展示室	656
35	2024年 刈谷剪画(きり絵)同好会作品展	12/3～12/8	6	第2展示室	588
36	第2回 知立似顔絵同好会展	12/3～12/8	6	第3A展示室	474
37	能面、能画の世界	12/3～12/8	6	第3B展示室	495
38	刈谷っ子ギャラリー 2024	12/11～12/15	5	第1,2,3展示室	6,156
39	ちびっこ絵画展	1/11～1/19	8	第1,2,3展示室	4,143
40	恵舟庵アートスタジオ教室展	1/21～1/26	6	第2,3展示室	608
41	繪の縁展	1/28～2/2	6	第2展示室	674
42	第5回 示現会三河展	1/28～2/2	6	第3展示室	809
43	刈谷絵画同好会	2/4～2/9	6	第3展示室	442
44	第25回 コンテンポラリー展	2/11～2/16	5	第2,3展示室	393
45	合同写真展(フォト四季・写団絆)	2/18～2/23	6	第2展示室	614
46	第40回 一般社団法人旺玄会 愛知支部展	2/18～2/23	6	第3展示室AB	673
47	全日本写真連盟 第65回刈谷支部写真展	2/18～2/23	6	第3展示室C	1,156
48	葦の会 デンソーOB水墨画展	2/26～3/2	5	第2展示室	414
49	写団ホワイト写真展	2/26～3/2	5	第3展示室	651
50	第51回 東海展 在日朝鮮学生美術展覧会	3/5～3/9	5	第2,3展示室	472
51	第26回 刈谷サークル 和紙ちぎり絵展	3/11～3/16	6	第2展示室	444
52	第70回 三河陶芸展	3/11～3/16	6	第3展示室AB	618
53	ひ陶会展	3/11～3/16	6	第3展示室C	326
54	第40回 刈谷水彩画協会展	3/18～3/23	5	第2,3展示室	990
55	第11回 アトリエキッズ・F 作品展	3/26～3/30	5	第1展示室	257
56	第10回記念展 パステルの会 作品展	3/25～3/30	6	第2展示室	414
57	ジェイテクトOB 作品展	3/25～3/30	6	第3展示室	498

利用状況

■入館者数

	展示室人数 （開館日数）	研修室人数 （貸切日数）	茶室人数 （貸切日数）	個人呈茶人数 （開催日数）	合 計
4月	3,586人 （22日）	0人 （0日）	52人 （7日）	398人 （10日）	4,036人
5月	5,651人 （27日）	0人 （0日）	179人 （2日）	1,309人 （25日）	7,139人
6月	8,168人 （24日）	0人 （0日）	314人 （6日）	1,081人 （16日）	9,563人
7月	4,359人 （25日）	0人 （0日）	261人 （7日）	201人 （8日）	4,821人
8月	5,508人 （26日）	91人 （5日）	37人 （4日）	175人 （10日）	5,811人
9月	5,453人 （21日）	35人 （1日）	218人 （4日）	809人 （15日）	6,515人
10月	8,900人 （27日）	0人 （0日）	0人 （0日）	1,711人 （27日）	10,611人
11月	7,955人 （24日）	1人 （1日）	254人 （10日）	591人 （9日）	8,801人
12月	8,388人 （13日）	0人 （0日）	245人 （6日）	62人 （3日）	8,695人
1月	5,883人 （24日）	0人 （0日）	367人 （11日）	74人 （4日）	6,324人
2月	3,675人 （22日）	10人 （1日）	264人 （11日）	84人 （5日）	4,033人
3月	4,494人 （25日）	85人 （3日）	309人 （10日）	117人 （6日）	5,005人
合計	72,020人 （280日）	222人 （11日）	2,500人 （78日）	6,612人 （138日）	81,354人

■開館以来の入館者数

	展示室	研修室	茶室貸切	個人呈茶	合 計
1983(昭和58)年度	47,129人	1,034人	2,101人	6,615人	56,879人
1984(昭和59)年度	48,642人	1,206人	2,673人	4,699人	57,220人
1985(昭和60)年度	72,843人	1,131人	4,296人	4,277人	82,547人
1986(昭和61)年度	75,792人	2,186人	3,392人	3,369人	84,739人
1987(昭和62)年度	71,382人	2,154人	3,660人	3,860人	81,056人
1988(昭和63)年度	139,000人	3,026人	3,621人	3,779人	149,426人
1989(平成元)年度	76,741人	4,607人	3,145人	3,417人	87,910人
1990(平成2)年度	101,094人	9,950人	3,532人	3,653人	118,229人
1991(平成3)年度	122,491人	5,733人	3,419人	3,640人	135,283人
1992(平成4)年度	90,892人	4,322人	3,120人	4,147人	102,481人
1993(平成5)年度	103,377人	4,489人	2,968人	3,667人	114,501人
1994(平成6)年度	102,173人	1,464人	3,072人	3,325人	110,034人
1995(平成7)年度	105,663人	1,530人	2,975人	3,548人	113,716人
1996(平成8)年度	94,773人	1,026人	3,143人	3,284人	102,226人
1997(平成9)年度	46,404人	1,856人	1,330人	1,508人	51,098人
1998(平成10)年度	84,531人	895人	2,693人	2,852人	90,971人
1999(平成11)年度	82,610人	686人	2,889人	2,825人	89,010人
2000(平成12)年度	94,548人	744人	3,817人	2,409人	101,518人
2001(平成13)年度	83,391人	1,550人	2,677人	2,645人	90,263人
2002(平成14)年度	75,504人	1,004人	3,386人	2,047人	81,941人
2003(平成15)年度	130,069人	1,165人	5,781人	3,087人	140,102人
2004(平成16)年度	86,468人	1,129人	5,506人	2,445人	95,548人
2005(平成17)年度	87,000人	764人	3,882人	2,081人	93,727人
2006(平成18)年度	100,138人	945人	4,285人	3,041人	108,409人
2007(平成19)年度	99,538人	1,028人	4,838人	3,145人	108,549人
2008(平成20)年度	88,387人	1,128人	4,171人	3,220人	96,906人
2009(平成21)年度	116,935人	1,028人	4,198人	3,414人	125,575人
2010(平成22)年度	77,485人	1,129人	3,028人	2,904人	84,546人
2011(平成23)年度	73,361人	897人	3,187人	2,977人	80,422人
2012(平成24)年度	84,660人	1,242人	2,724人	3,658人	92,284人
2013(平成25)年度	87,471人	1,013人	2,678人	4,622人	95,784人
2014(平成26)年度	91,543人	979人	2,597人	3,972人	99,091人
2015(平成27)年度	82,587人	1,125人	2,723人	4,124人	90,559人
2016(平成28)年度	82,423人	771人	2,365人	5,907人	91,466人
2017(平成29)年度	76,106人	487人	2,640人	4,426人	83,659人
2018(平成30)年度	108,563人	513人	2,495人	7,714人	119,285人
2019(平成31)年度	102,957人	2,630人	3,010人	3,550人	112,147人
2020(令和2)年度	62,775人	111人	18人	0人	62,904人
2021(令和3)年度	68,167人	357人	178人	0人	68,702人
2022(令和4)年度	90,658人	432人	1,816人	1,782人	94,688人
2023(令和5)年度	75,116人	219人	2,528人	3,866人	81,729人
2024(令和6)年度	72,020人	222人	2,500人	6,612人	81,354人
合　計	3,663,407人	69,907人	129,057人	146,113人	4,008,484人

作品の収集

■方針

1. 現代の美術の展開と流れを展望するにふさわしい作品、及びその指針を形成する作品
2. 衣浦周辺地域をはじめ、中部圏と関わりのある全国的または国際的視野で、特に美術史的価値の高い作家の作品
3. 上記1、2の作品・作家を理解する上で役立つ作品、及び作家の創作活動の背景を知ることのできる下絵等

■作品の審査

刈谷市美術館美術品審査委員会および選定委員会を開催し、収集作品の選定及び評価に関する審査を行いました。

《令和6年度美術品審査委員会》　2025(令和7)年1月14日開催

審査委員 ：	愛知県美術館 美術課長	古田 浩俊
	名古屋市美術館 参与	深谷 克典
	豊田市博物館 館長	村田 眞宏
	豊田市美術館 館長	高橋 秀治
	前・四日市市立博物館 館長	吉田 俊英

《令和6年度美術品選定委員会》　2025(令和7)年1月22日開催

選定委員 ：	副市長	鈴木 克幸
	教育長	金原 宏
	企画財政部長	岡部 直樹
	市民活動部長	宮田 孝裕

■新収蔵作品

作家名
作品名
制作年／技法・材質／サイズ（縦 × 横 × 高さ cm）／分類種別／その他

【購入】

和田英作
婦人像
明治末期／油彩・キャンバス／ 45.6×33.6 ／洋画

和田英作
小川のほとり（逢妻男川おとこ橋）
1949 ／油彩・キャンバス／ 41.4×53.2 ／洋画

森眞吾
85-06-21
1985 ／木炭、油彩・キャンバス／ 194.5×162.2 ／洋画

森眞吾
94-06-29
1994 ／油彩・キャンバス／ 184.2×136.0 ／洋画

野田弘志
TOKIJIKU（非時）XVIII Box
1995 ／油彩・キャンバス／ 100.3×80.4 ／洋画

荒井良二
生まれたばかりのぼくのギターの音はどこか遠くの家族のにおいがする
2024 ／アクリル・キャンバス／ 73.0×53.0 ／洋画

田島征三
『しばてん』[1]
1971 ／リトグラフ (ジンク版) ・紙／ 54.5×65.4 ／原画（絵本）

田島征三
『しばてん』原画（表紙タイトル）
1971 ／墨・紙／ 28.0×44.2 ／原画（絵本）

田島征三
『しばてん』原画（背表紙）
1971 ／泥絵具・紙／ 18.8×16.9 ／原画（絵本）

田島征三
『しばてん』原画（カバー袖）
1971 ／墨、泥絵具・紙／ 25.0×36.6 ／原画（絵本）

田島征三
『しばてん』原画（p.1）
1971 ／墨・紙／ 38.0×31.5 ／原画（絵本）

田島征三
『しばてん』[2]
1971 ／リトグラフ（ジンク版）・紙／ 54.2×38.1 ／原画（絵本）

田島征三
『しばてん』[3]
1971 ／リトグラフ（ジンク版）・紙／ 56.3×75.3 ／原画（絵本）

田島征三
『しばてん』[4]
1971 ／ 5 リトグラフ（ジンク版）・紙／ 4.7×64.7 ／原画（絵本）

田島征三
『しばてん』[5]
1971 ／リトグラフ（ジンク版）・紙／ 54.4×69.0 ／原画（絵本）

田島征三
『しばてん』[6]
1971 ／リトグラフ（ジンク版）・紙／ 55.6×66.7 ／原画（絵本）

田島征三
『しばてん』[7]
1971 ／リトグラフ（ジンク版）・紙／ 54.4×67.2 ／原画（絵本）

田島征三
『しばてん』[8]
1971 ／リトグラフ（ジンク版）・紙／
54.4×76.6 ／原画（絵本）

田島征三
『しばてん』[9]
1971 ／リトグラフ（ジンク版）・紙／
55.1×76.7 ／原画（絵本）

田島征三
『しばてん』[10]
1971 ／リトグラフ（ジンク版）・紙／
49.4×68.6 ／原画（絵本）

田島征三
『しばてん』[11]
1971 ／リトグラフ（ジンク版）・紙／
54.3×67.6 ／原画（絵本）

田島征三
『しばてん』[12]
1971 ／リトグラフ（ジンク版）・紙／
50.9×65.8 ／原画（絵本）

田島征三
『しばてん』[13]
1971 ／リトグラフ（ジンク版）・紙／
54.6×69.2 ／原画（絵本）

田島征三
『しばてん』[14]
1971 ／リトグラフ（ジンク版）・紙／
51.1×68.8 ／原画（絵本）

田島征三
『しばてん』[15]
1971 ／リトグラフ（ジンク版）・紙／
53.2×65.2 ／原画（絵本）

田島征三
『しばてん』[16]
1971 ／リトグラフ（ジンク版）・紙／
54.2×65.2 ／原画（絵本）

荒井良二
『バスにのって』原画（表紙）
1992 ／アクリル・紙／ 40.9×47.5 ／
原画（絵本）

荒井良二
『バスにのって』原画（見返し）
1992 ／アクリル・紙／ 40.8×76.0 ／
原画（絵本）

荒井良二
『バスにのって』原画（p.1）
1992 ／アクリル・紙／ 40.8×57.0 ／
原画（絵本）

荒井良二
『バスにのって』原画（p3.）
1992 ／アクリル・紙／ 40.7×50.0 ／
原画（絵本）

荒井良二
『バスにのって』原画（p.5）
1992 ／アクリル・紙／ 40.7×56.8 ／
原画（絵本）

荒井良二
『バスにのって』原画（p.7）
1992 ／アクリル・紙／ 40.8×51.1 ／
原画（絵本）

荒井良二
『バスにのって』原画（pp.8-9）
1992 ／アクリル・紙／ 40.7×54.0 ／
原画（絵本）

荒井良二
『バスにのって』原画（pp.10-11）
1992 ／アクリル・紙／ 40.9×57.0 ／
原画（絵本）

荒井良二
『バスにのって』原画（pp.12-13）
1992 ／アクリル・紙／ 40.5×53.3 ／
原画（絵本）

荒井良二
『バスにのって』原画（p.15）
1992 ／アクリル・紙／ 40.9×47.6 ／
原画（絵本）

荒井良二
『バスにのって』原画（pp.16-17）
1992 ／アクリル・紙／ 41.1×76.0 ／
原画（絵本）

荒井良二
『バスにのって』原画（p.19）
1992 ／アクリル・紙／ 40.9×50.6 ／
原画（絵本）

荒井良二
『バスにのって』原画（p.21）
1992 ／アクリル・紙／ 40.9×56.9 ／
原画（絵本）

荒井良二
『バスにのって』原画（pp.22-23）
1992 ／アクリル・紙／ 37.5×56.7 ／
原画（絵本）

荒井良二
『バスにのって』原画（pp.24-25）
1992 ／アクリル・紙／ 41.2×71.4 ／
原画（絵本）

荒井良二
『バスにのって』原画（p.26）
1992 ／アクリル・紙／ 40.9×35.4 ／
原画（絵本）

荒井良二
『バスにのって』原画（p.27）
1992 ／アクリル・紙／ 40.8×57.0 ／
原画（絵本）

荒井良二
『バスにのって』原画（pp.28-29）
1992 ／アクリル・紙／ 40.7×76.0 ／
原画（絵本）

荒井良二
『バスにのって』原画（p.31）
1992 ／アクリル・紙／ 40.9×57.1 ／
原画（絵本）

荒井良二
『バスにのって』原画（p.32）
1992 ／アクリル・紙／ 40.9×50.0 ／
原画（絵本）

荒井良二
『はっぴぃさん』原画（表紙）
2003 ／アクリル、ガッシュ・紙／
38.0×56.1 ／原画（絵本）

荒井良二
『はっぴぃさん』原画（見返し）
2003 ／鉛筆・紙／ 38.1×54.1 ／
原画（絵本）

荒井良二
『はっぴぃさん』原画（p.1）
2003 ／アクリル、ガッシュ・紙／
37.7×34.6 ／原画（絵本）

荒井良二
『はっぴぃさん』原画（pp.2-3）
2003 ／アクリル、ガッシュ・紙／
38.2×56.2 ／原画（絵本）

荒井良二
『はっぴぃさん』原画（pp.4-5）
2003 ／アクリル、ガッシュ・紙／
37.6×56.2 ／原画（絵本）

荒井良二
『はっぴぃさん』原画（pp.6-7）
2003 ／アクリル、ガッシュ・紙／
38.2×56.5 ／原画（絵本）

荒井良二
『はっぴぃさん』原画（pp.8-9）
2003 ／アクリル、ガッシュ・紙／
37.9×56.4 ／原画（絵本）

荒井良二
『はっぴぃさん』原画（pp.10-11）
2003 ／アクリル、ガッシュ・紙／
37.8×56.5 ／原画（絵本）

荒井良二
『はっぴぃさん』原画（pp.12-13）
2003 ／アクリル、ガッシュ・紙／
37.7×56.3 ／原画（絵本）

荒井良二
『はっぴぃさん』原画（pp.14-15）
2003 ／アクリル、ガッシュ・紙／
38.1×56.3 ／原画（絵本）

荒井良二
『はっぴぃさん』原画（pp.16-17）
2003 ／アクリル、ガッシュ・紙／
37.7×56.5 ／原画（絵本）

荒井良二
『はっぴぃさん』原画（pp.18-19）
2003 ／アクリル、ガッシュ・紙／
37.9×56.2 ／原画（絵本）

荒井良二
『はっぴぃさん』原画（pp.20-21）
2003 ／アクリル、ガッシュ・紙／
37.7×56.6 ／原画（絵本）

荒井良二
『はっぴぃさん』原画（pp.22-23）
2003 ／アクリル、ガッシュ・紙／
37.7×56.6 ／原画（絵本）

荒井良二
『はっぴぃさん』原画（pp.24-25）
2003 ／アクリル、ガッシュ・紙／
38.0×56.6 ／原画（絵本）

荒井良二
『はっぴぃさん』原画（pp.26-27）
2003 ／アクリル、ガッシュ・紙／
37.7×56.3 ／原画（絵本）

荒井良二
『はっぴぃさん』原画（pp.28-29）
2003 ／アクリル、ガッシュ・紙／
38.3×56.5 ／原画（絵本）

荒井良二
『はっぴぃさん』原画（pp.30-31）
2003 ／アクリル、ガッシュ・紙／
38.1×56.7 ／原画（絵本）

荒井良二
『はっぴぃさん』原画（p.32）
2003 ／アクリル、ガッシュ・紙／
37.8×34.3 ／原画（絵本）

【寄贈】

鬼頭鍋三郎
静物
1924 ／油彩・キャンバス／ 45.7×53.1 ／
洋画／鬼頭伊佐郎氏寄贈

森眞吾
白い角・1
1964 ／油彩・キャンバス／ 162.0×130.8 ／
洋画／名古屋画廊寄贈

森眞吾
したべら
1965 ／ 91.2×65.5 ／油彩・キャンバス／洋画／名古屋画廊寄贈

荒井良二
[無題]
2024 ／アクリル、墨・紙（茶室襖絵）／ 181.0×114.6、180.4×115.6、180.9×115.6、180.6×114.5 ／洋画／荒井良二氏寄贈

荒井良二
[無題]
2024 ／アクリル、墨・紙／ 114.5×66.7 ／洋画／荒井良二氏寄贈

荒井良二
[無題]
2024 ／アクリル、墨・紙／ 75.3×90.7 ／洋画／荒井良二氏寄贈

荒井良二
千利休る
2024 ／アクリル、墨・紙／ 90.1×33.3 ／洋画／荒井良二氏寄贈

蛇雄
楽園
2021 ／鉛筆、墨・紙／ 39.3×51.4 ／水彩画・素描など／蛇雄氏寄贈

蛇雄
アダムとイヴ
2023 ／鉛筆、墨・紙／ 54.3×39.3 ／水彩画・素描など／蛇雄氏寄贈

蛇雄
海の長老
2023 ／鉛筆､墨･紙／ 39.4×53.9 ／水彩画・素描など／蛇雄氏寄贈

蛇雄
海老インコ
2023 ／鉛筆､墨･紙／ 39.0×53.5 ／水彩画・素描など／蛇雄氏寄贈

蛇雄
極楽浄土
2023 ／鉛筆､墨･紙／ 53.8×39.2 ／水彩画・素描など／蛇雄氏寄贈

蛇雄
叫ぶ自画像
2023 ／鉛筆､墨･紙／ 54.6×39.3 ／水彩画・素描など／蛇雄氏寄贈

蛇雄
百獣の王
2024 ／色鉛筆、鉛筆、墨・紙／ 54.8×39.2 ／水彩画・素描など／蛇雄氏寄贈

蛇雄
海老の妖精
2024 ／色鉛筆、鉛筆、墨・紙／ 53.6×38.0 ／水彩画・素描など／蛇雄氏寄贈

蛇雄
森の仲間たち
2024 ／色鉛筆、鉛筆、墨・紙／ 55.0×39.3 ／水彩画・素描など／蛇雄氏寄贈

蛇雄
河馬蛇
2024 ／色鉛筆、鉛筆、墨・紙／ 38.9×54.7 ／水彩画・素描など／蛇雄氏寄贈

蛇雄
オオムの自画像
2024 ／色鉛筆、鉛筆、墨・紙／ 54.2×39.4 ／水彩画・素描など／蛇雄氏寄贈

蛇雄
亀に乗る自画像
2024 ／色鉛筆、鉛筆、墨・紙／ 54.2×39.5 ／水彩画・素描など／蛇雄氏寄贈

蛇雄
妖怪の館
2024 ／色鉛筆、鉛筆、墨・紙／ 54.3×38.9 ／水彩画・素描など／蛇雄氏寄贈

村上康成
『ももんがもんじろう』原画（表紙）
2015 ／ポスターカラー・紙／ 32.4×50.2 ／原画（絵本）／村上康成氏寄贈

村上康成
『ももんがもんじろう』原画（pp.1-2）
2015 ／ポスターカラー・紙／ 29.8×46.4 ／原画（絵本）／村上康成氏寄贈

村上康成
『ももんがもんじろう』原画（pp.3-4）
2015 ／ポスターカラー・紙／ 29.8×46.4 ／原画（絵本）／村上康成氏寄贈

村上康成
『ももんがもんじろう』原画（pp.5-6）
2015 ／ポスターカラー・紙／ 29.8×46.3 ／原画（絵本）／村上康成氏寄贈

村上康成
『ももんがもんじろう』原画（pp.7-8）
2015 ／ポスターカラー・紙／ 29.9×46.2 ／原画（絵本）／村上康成氏寄贈

村上康成
『ももんがもんじろう』原画（pp.9-10）
2015 ／ポスターカラー・紙／ 29.9×46.2 ／原画（絵本）／村上康成氏寄贈

村上康成
『ももんがもんじろう』原画（pp.11-12）
2015 ／ポスターカラー・紙／ 29.9×46.2 ／原画（絵本）／村上康成氏寄贈

村上康成
『ももんがもんじろう』原画（pp.13-14）
2015 ／ポスターカラー・紙／ 29.9×46.1 ／原画（絵本）／村上康成氏寄贈

村上康成
『ももんがもんじろう』原画（pp.15-16）
2015 ／ポスターカラー・紙／ 29.9×46.1 ／原画（絵本）／村上康成氏寄贈

村上康成
『ももんがもんじろう』原画（pp.17-18）
2015 ／ポスターカラー・紙／ 29.8×46.1 ／原画（絵本）／村上康成氏寄贈

村上康成
『ももんがもんじろう』原画（pp.19-20）
2015 ／ポスターカラー・紙／ 29.8×46.0 ／原画（絵本）／村上康成氏寄贈

村上康成
『ももんがもんじろう』原画（pp.21-22）
2015 ／ポスターカラー・紙／ 29.8×46.1 ／原画（絵本）／村上康成氏寄贈

村上康成
『ももんがもんじろう』原画（pp.23-24）
2015 ／ポスターカラー・紙／ 29.8×46.4 ／原画（絵本）／村上康成氏寄贈

村上康成
『ももんがもんじろう』原画（pp.25-26）
2015 ／ポスターカラー・紙／ 29.8×46.1 ／原画（絵本）／村上康成氏寄贈

村上康成
『ももんがもんじろう』原画（pp.27-28）
2015 ／ポスターカラー・紙／ 29.9×46.1 ／原画（絵本）／村上康成氏寄贈

村上康成
『ももんがもんじろう』原画（pp.29-30）
2015 ／ポスターカラー・紙／ 29.8×46.1 ／原画（絵本）／村上康成氏寄贈

村上康成
『ももんがもんじろう』原画（pp.31-32）
2015 ／ポスターカラー・紙／ 30.0×46.1 ／原画（絵本）／村上康成氏寄贈

村上康成
『ももんがもんじろう』原画（pp.33-34）
2015 ／ポスターカラー・紙／ 29.8×46.0 ／原画（絵本）／村上康成氏寄贈

粟津潔
「1959 年 1 月」カレンダー
1958 頃／シルクスクリーン・紙／ 25.4×22.7 ／その他／粟津ケン氏寄贈

粟津潔
「POSTERNIPPON ’55-’72：スクリーン印刷によるポスター展」ポスター
1972 ／シルクスクリーン・紙／ 102.8×72.7 ／ポスター／粟津ケン氏寄贈

城景都
浴後1
1979 ／エッチング・紙／ 28.1×19.7 ／版画／伊藤泰弘氏寄贈

【寄託】

牧野邦夫
ひん曲がった部屋
1977 ／油彩・キャンバス／ 53.5×65.3 ／洋画

牧野邦夫
大行進
1986 ／油彩・キャンバス／ 91.1×72.8 ／洋画

■収集状況一覧

収集年度	日本画	洋画	水彩画・素描	原画	版画・ポスター・写真など	彫刻・立体	工芸	書	計
1981（昭和56）年度	0	0	0	0	0	1	0	0	1
1983（昭和58）年度	3	2	0	0	0	0	3	1	9
1987（昭和62）年度	0	1	0	0	0	0	0	0	1
1990（平成2）年度	9	0	0	0	0	0	0	0	9
1991（平成3）年度	5	25	0	0	0	0	1	11	42
1992（平成4）年度	2	35	0	0	0	0	0	0	37
1993（平成5）年度	0	11	18	0	1	3	0	0	33
1994（平成6）年度	7	20	26	0	9	0	0	1	63
1995（平成7）年度	2	22	0	0	0	0	0	0	24
1996（平成8）年度	3	9	2	0	0	7	0	0	21
1997（平成9）年度	14	3	24	0	0	0	0	0	41
1998（平成10）年度	10	12	3	0	8	0	0	0	33
1999（平成11）年度	8	11	8	14	2	0	0	0	43
2000（平成12）年度	3	6	9	37	0	0	0	0	55
2001（平成13）年度	0	17	15	0	0	0	0	0	32
2002（平成14）年度	7	7	0	0	0	8	0	3	25
2003（平成15）年度	5	2	0	0	1	0	0	0	8
2004（平成16）年度	0	20	148	51	11	0	0	0	230
2005（平成17）年度	0	7	0	1	1	0	0	0	9
2006（平成18）年度	4	10	0	1	0	0	1	0	16
2007（平成19）年度	0	6	0	94	0	0	0	0	100
2008（平成20）年度	1	11	6	33	1	0	0	0	52
2009（平成21）年度	1	6	0	98	0	0	0	0	105
2010（平成22）年度	2	8	0	0	1	0	0	0	11
2011（平成23）年度	1	3	9	358	124	0	0	0	495
2012（平成24）年度	0	5	0	233	3	0	0	0	241
2013（平成25）年度	2	7	0	210	8	0	0	0	227
2014（平成26）年度	3	20	4	846	118	0	0	0	991
2015（平成27）年度	4	17	8	89	31	0	0	0	149
2016（平成28）年度	12	12	0	25	22	15	0	0	86
2017（平成29）年度	17	15	2	4	17	0	0	0	55
2018（平成30）年度	4	3	0	80	3	1	0	0	91
2019（平成31）年度	4	15	2	5	78	2	0	0	106
2020（令和2）年度	1	1	6	123	11	0	0	0	142
2021（令和3）年度	4	24	1	18	20	0	0	0	67
2022（令和4）年度	0	4	0	0	181	0	0	0	185
2023（令和5）年度	3	9	0	0	158	2	0	0	172
2024（令和6）年度	0	15	13	77	3	0	0	0	108
計	141点（3.4%）	401点（9.7%）	304点（7.4%）	2,397点（58.3%）	812点（19.7%）	39点（1.0%）	5点（0.1%）	16点（0.4%）	4,115点（100%）

コレクションの貸出実績

2024(令和6)年度は、52点の貸し出しを行いました。

■「村上康成の世界展」 開催のため

会場　東根市美術館(会期:2024年4月27日～6月9日)
　　佐野美術館(会期:2024年6月15日～8月4日)
作品　村上康成『ピンク、ぺっこん』原画 1983年　はじめ38点

■「春陽会誕生100念記念 それぞれの闘い」展 開催のため

会場　碧南市藤井達吉現代美術館(会期:2024年5月25日～7月7日)
作品　上原欽二《地平に立つ》1961年

■「生誕130年記念 北川民次展ーメキシコから日本へ」展 開催のため

会場　名古屋市美術館(会期:2024年6月29日～9月8日)
　　世田谷美術館(会期:2024年9月21日～11月17日)
　　郡山市立美術館(会期:2025年1月25日～3月23日)
作品　北川民次《水浴》1929年　はじめ7点

■「生誕100年 中村正義ーその熱と渦ー」展 開催のため

会場　豊橋市美術博物館(会期:2025年2月22日～3月30日)
　　平塚市美術館(会期:2025年4月12日～5月18日)
　　奈良県立美術館(会期:2025年5月31日～7月6日)
作品　中村正義《女[予言者]》1962-63年　はじめ6点

設備・施設の概要

《工事概要》

所在地	愛知県刈谷市住吉町4-5
設計監理	株式会社　大建設計名古屋事務所
建築	株式会社富士工務店
電気設備	千歳電気工業株式会社
給排水設備	大建工業株式会社
空調設備	新日本空調株式会社
造園	アイシン緑化株式会社
工期	昭和57年1月～昭和58年4月
開館	昭和58年6月11日

《大規模改修工事概要》

第1回目

設計監理	刈谷市建設部建築課
建築工事	アイシン開発株式会社
電気工事	千歳電気工業株式会社
管工事	新日本空調株式会社
工期	平成9年6月23日～平成9年12月19日
休館期間	平成9年7月1日～平成9年12月31日
内容	乗用エレベーター設置、空調機改修、照明器具改修、壁面クロス張替、トイレ改修、ホイスト取付（1階荷解室）、事務室盤廻り改造、資料室・車庫改造（資料室に用途変更）ほか

第2回目

設計監理	刈谷市建設部建築課
舗装工事	アイシン開発株式会社
壁面工事	吉原建設株式会社
空調工事	新日本空調株式会社
工期	平成23年9月5日～平成24年2月21日
休館期間	平成23年10月3日～平成24年1月10日
内容	空調機改修、内壁改修（可動壁はクロス張替のみ）、消防用ハロン容器弁取替、収蔵庫棚設置（備品）、東側駐車場舗装改修、美術館屋上鉄製扉・茶室表門改修、枝折戸等修繕、ほか

《建物概要》

構造	鉄筋コンクリート造　二階建　塔屋一階
敷地面積	5770.8㎡
建築面積	1216.58㎡
延面積	2346.92㎡（1階：1169.24㎡　2階：1069.55㎡ 塔屋：108.13㎡）
仕上	［外装］外壁／磁器タイル（一部アルミ発色カーテンウォール） 屋根／アスファルト防水（外断熱） ［内装］床／ビニール床長尺シート張り 壁／合板（12㎜）＋石膏ボード（12.5㎜）の上にクロス張り、塗装 ロビー部：磁器タイル 天井／岩綿吸音板（石膏ボード下張り） 収蔵庫／床：ナラ　壁：スプルース
エレベーター	荷物用／1基・油圧式　2500kg D×W×H＝3.25×2.5×2.4m 乗用／1基・油圧式　750kg（11人乗）
ホイスト	1階荷解室／2t用・1基 2階荷解室／2t用・1基

《設備概要》

［電気設備］

受変電設備	受電電圧 6600V トランス容量 175KVA
電灯設備	照明器具　373台
主光源	褪色防止形蛍光灯
展示室・展示ケース内照度	0～400lx
火災報知設備及び防火防煙設備	複合盤、P型1級受信機40回線（火報13 ハロン2 防災15）、煙感知器、スポット型感知器（差動式・定温式）、連動用煙感知器、防火戸、防火戸自動閉鎖装置、防煙タレ壁、連動用排煙口、非常放送設備、誘導灯設備

［空調設備］

吸収式冷温水発生チリングユニット	冷却塔一体型　ガス焚　低騒音型 空冷式　年間冷却型
空調機器	ロビー系統／2系統（各室独立空調） 展示室系統／4系統（各室独立空調） 収蔵庫系統／2系統（各室独立空調、電気ヒーター組み込み）
フィルター	プレフィルター、中性能フィルター
全熱交換器	1Fロビー及び展示室系統：1系統 1Fロビー、2F展示室系統：1系統
給水装自動給水装置	受水槽一体型（水槽容量750l ）
温湿度	展示室　温度／夏期25℃±1～1.5℃ 冬期22℃±1～1.5℃ 湿度／夏期・冬期 55%±5% 収蔵庫　温度／22℃±1℃ 湿度／55%±5%

［消火設備］

収蔵庫	ハロン消火設備
その他屋内	消火栓

《展示室概要》

［特別展示室］

面積	92.0㎡
壁面長	33.7m
天井高	4.0m
照明	蛍光灯（ガラスケース内）、スポットライト（着脱式）

ガラスケース隠しパネル有り

［第1展示室］

面積	128.0㎡
壁面長	43.1m
天井高	4.0m
照明	蛍光灯、スポットライト（着脱式）

間仕切りパネル有り

［第2展示室］

面積	100.0㎡
壁面長	37.5m
天井高	4.2m
照明	蛍光灯、スポットライト（着脱式）

間仕切りパネル無し

［第3展示室］

面積	241.1㎡
壁面長	67.6m
天井高	4.2m
照明	蛍光灯、スポットライト（着脱式）

間仕切りパネル有り

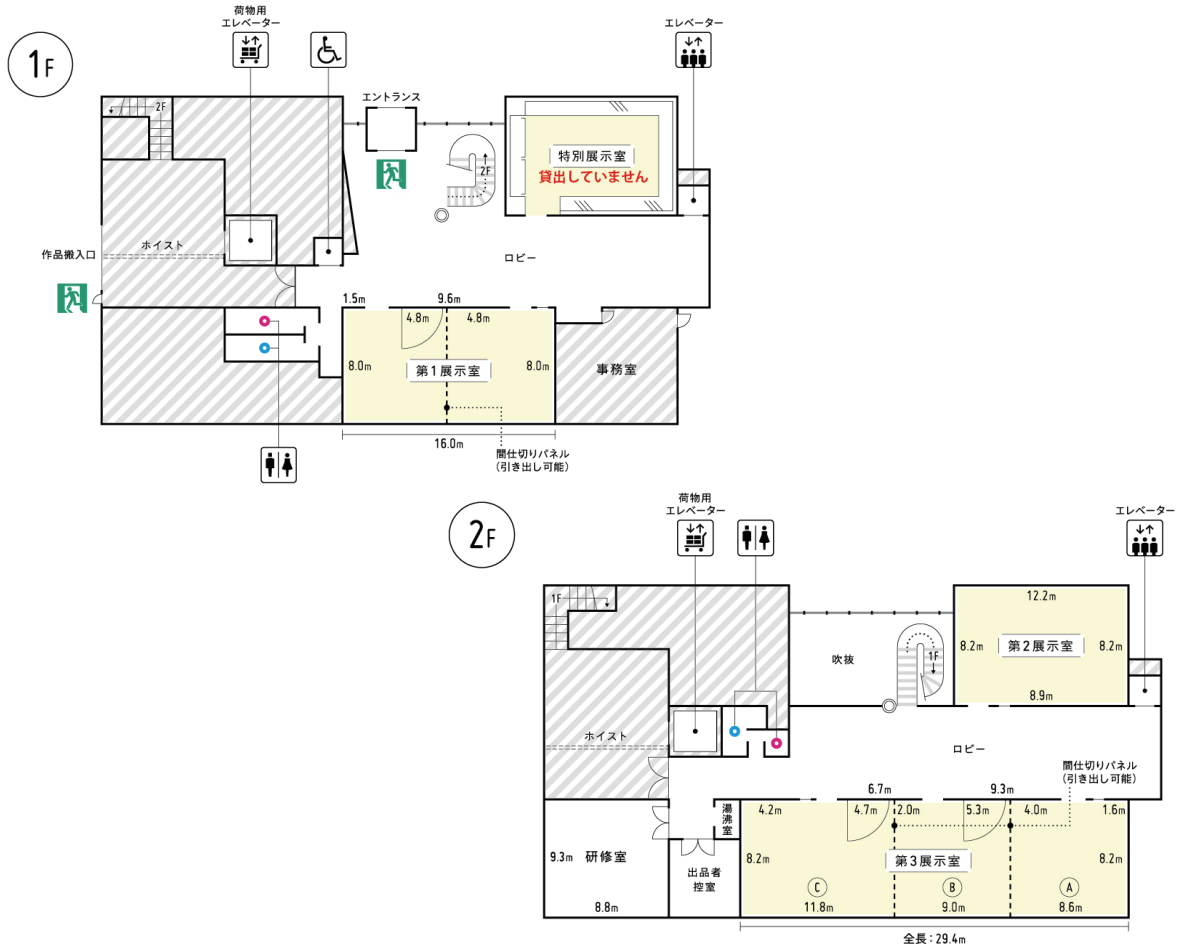
《諸室面積》

研修室	81.8㎡（8.8 m×9.3 m）		
控室（ギャラリー利用者用）	31.6㎡		
事務室	77.4㎡		
資料室1	18.2㎡	資料室2	24.5㎡
収蔵庫前室（1F）	18.0㎡	収蔵庫（1F）	81.0㎡
収蔵庫前室（2F）	18.0㎡	収蔵庫（2F）	81.0㎡
荷解室（1F）	82.1㎡	荷解室（2F）	108.0㎡
機械室（1F）	81.0㎡	機械室（塔屋）	91.1㎡
倉庫（1F）	7.8㎡	倉庫（2F）	7.5㎡
トイレ（1F）	29.4㎡	トイレ（2F）	18.5㎡
身障者用トイレ	4.0㎡		
ロビー（1F）	293.0㎡	ロビー（2F）	231.9㎡

《茶室概要》

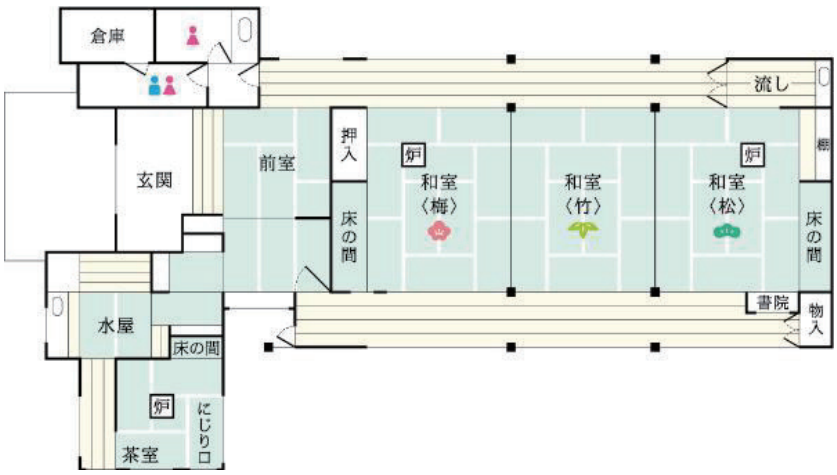
構造	木造日本瓦葺平屋建
建築面積	174.14㎡
延面積	155.06㎡

平面図

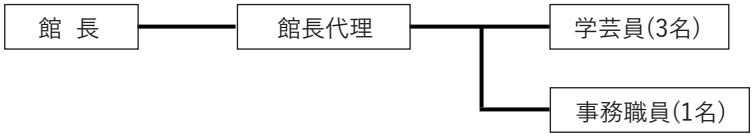


刈谷市美術館 併設

茶室 佐喜知庵



組織図



2025(令和7)年3月31日現在

刈谷市美術館条例

（昭和58年4月1日条例第7号）
改正　平成元年4月1日条例第17号
平成6年4月1日条例第14号
平成9年4月1日条例第21号
平成13年3月30日条例第23号
平成21年3月27日条例第15号

（趣旨）

第1条　この条例は、市民の文化及び教養の向上を図るため、美術館の設置及び管理に関し必要な事項を定めるものとする。

（名称及び位置）

第2条　美術館の名称及び位置は、次のとおりとする。

(1)名称　刈谷市美術館

(2)位置　刈谷市住吉町4丁目5番地

（事業）

第3条　刈谷市美術館（以下「美術館」という。）は、次に掲げる事業を行う。

(1)美術に関する作品その他の資料を収集し、保管し、及び展示すること。

(2)美術に関する展覧会、講演会、講習会、研究会等を開催すること。

(3)美術に関する展示若しくは研修又は茶会のために施設を利用に供すること。

（使用の許可）

第4条　美術館を使用しようとする者は、あらかじめ刈谷市教育委員会（以下「委員会」という。）の許可を受けなければならい。許可を受けた者は（以下「使用者」という。）が許可された事項を変　更する場合もまた同様とする。

2　委員会は、前項の規定により使用を許可する場合において管理上必要な条件を付けることができる。

（使用料）

第5条　美術館の使用料は、別表のとおりとする。

2　使用料は、使用の許可を受けたときに、前項の使用料を納付しなければならない。

（使用料の還付）

第6条　既納の使用料は還付しない。ただし、市長が特に必要があると認めたときは、使用料を還付することができる。

（使用許可の制限）

第7条　委員会は、次の各号のいずれかに該当するときは、使用を許可しない。

(1)公の秩序又は善良な風俗を乱すおそれがあると認めたとき。

(2)建物及び附属物を害するおそれがあると認めたとき。

(3)管理上支障があると認めたとき。

(4)その他委員会が適当でないと認めたとき。

（使用許可の取消し）

第8条　委員会は、次の各号のいずれかに該当するときは、美術館の許可を取り消すことができる。

(1)使用の許可条件に違反したとき。

(2)この条例は又は委員会の指示に違反したとき。

(3)災害その他の事故により使用ができなくなったとき。

(4)公共の福祉のためにやむを得ない理由があるとき。

2　前項の規定によって使用者が受ける損害に対して、委員会はその責任を負わない。

（特別の設備等の承認）

第9条　使用者は、美術館の使用に関し特別の設備をし、又は備付け以外の器具を使用しようとするときは、あらかじめ委員会の承認を受けなければならない。

（目的外使用等の禁止）

第10条　使用者は、美術館及びこれに附属する器具を、使用許可を受けた目的以外に使用し、又はこれらの使用の権利を譲渡し、若しくは転貸してはならない。

（原状回復の義務）

第11条　使用者は、使用をおわったとき、又は使用を取り消されたときは、直ちに原状に復さなければならない。

（損害賠償義務）

第12条　故意又は過失により施設、器具、美術資料等を破損し、又は損失した者は、それによって生じた損害を賠償しなければならない。

（委任）

第13条　この条例の施行に関し必要な事項は、委員会が定める。

附　則

この条例は、昭和58年6月1日から施行する。

附　則（平成元年4月1日条例第17号）

（略）

附　則（平成6月4月1日条例第14号）

（略）

附　則（平成9年4月1日条例第21号）

（略）

附　則（平成13年3月30日条例第23号）

（略）

附　則（平成21年3月27日条例第15号）

（略）

（施行期日）

1　この条例は、平成21年10月1日から施行する。

（経過措置）

2　改正後の刈谷市美術館条例の規定は、この条例の施行の日以後に使用の許可を受けたものに係る使用料から適用し、同日前に使用の許可を受けたものに係る使用料については、なお従前の例による。

別表（第5条関係）

区　分		使　用　料		
		午　前 午前9時から 午後0時まで	午　後 午後1時から 午後5時まで	全　日 午前9時から 午後5時まで
特別展示室		――――	――――	2,000円
第1展示室		――――	――――	3,300円
第2展示室		――――	――――	2,800円
第3展示室A		――――	――――	1,600円
第3展示室B		――――	――――	1,600円
第3展示室C		――――	――――	2,100円
研 修 室		950円	1,300円	2,100円
佐喜知庵	茶　室 （水屋及び控室を含む）	1,900円	2,500円	4,100円
	松	750円	1,000円	1,600円
	竹	750円	1,000円	1,600円
	梅	750円	1,000円	1,600円

備考

（1）営利を目的としないで使用し、入場料を1人につき500円以上（入場料に区分がある場合は、その区分の最高金額が500円以上）徴する場合は、本表の2倍の額とする。

（2）営利を目的として使用する場合は、本表の12倍の額とする。

刈谷市美術館条例施行規則

昭和58年4月1日教育委員会規則第3号
平成21年3月27日教育委員会規則第2号
平成24年12月27日教育委員会規則第12号

（趣旨）

第1条　この規則は、刈谷市美術館条例（昭和58年条例第7号。以下「条例」という。）の施行に関し必要な事項を定めるものとする。

（休館日）

第2条　刈谷市美術館（以下「美術館」という。）の休館日は、次のとおりとする。ただし、刈谷市教育委員会（以下「委員会」という。）が特に必要があると認めたときは、変更することができる。

（1）毎週月曜日

（2）国民の祝日の翌日

（3）1月1日、1月3日及び12月29日から12月31日まで

（開館時間）

第3条　美術館の開館時間は、午前9時から午後5時までとする。ただし、委員会が特に必要があると認めたときは、変更することができる。

（使用の申請及び許可）

第4条　条例第4条第1項の規定により美術館の使用許可を受けようとする者は、刈谷市美術館使用許可申請書（様式第1号）を委員会に提出しなければならない。

2　前項の申請書は、使用しようとする日の属する月の1年前から使用日前7日までに提出するものとする。ただし、委員会が特に必要があると認めたときは、この限りでない。

3　委員会は、第1項の申請があった場合は、その使用目的及び内容を検討し、適当と認めるものには刈谷市美術館使用許可書（様式第2号）を交付する。

（使用許可の変更）

第5条　美術館の使用許可を受けた者（以下「使用者」という。）が許可事項の変更をしようとするときは、刈谷市美術館使用変更申請書（様式第3号）を委員会に提出しなければならない。

2　委員会は、前項の申請があった場合は、その内容を審査し、適当と認めたときは、刈谷市美術館使用変更許可書（様式第4号）を交付する。

（使用の取消し）

第6条　使用者は、使用の取消しをしようとするときは、速やかに刈谷市美術館使用取消届（様式第5号）を委員会に提出しなければならない。

（使用料の還付）

第7条　条例第6条ただし書の規定にもとづく使用料の還付は、次の各号のいずれかに該当する場合とする。

（1）使用日前7日までに取消しの申請があった場合

（2）委員会が条例第8条第1項第3号又は第4号の規定により使用許可を取り消した場合

（使用期間）

第8条　美術館の使用期間は、引き続き2週間を超えることができない。ただし、委員会が特に必要があると認めたときは、延長することができる。

（遵守事項）

第9条　美術館の利用者は、次に掲げる事項を守らなければならない。

（1）秩序ある行動をとること。

（2）指定の場所以外で飲食し、喫煙し、又は火気を使用しないこと。

（3）危険物の携帯又は動物類を連行しないこと。

（4）許可を受けないで物品の展示又は販売をしないこと。

（5）許可を受けないで壁、柱等に張り紙をし、又はくぎ類を打たないこと。

（6）その他管理上必要な指示に反する行為をしないこと。

附　則

この規則は、昭和58年6月1日から施行する。

附　則（平成21年3月27日教育委員会規則第2号）

この規則は、平成21年10月1日から施行する。

附　則（平成24年12月27日教育委員会規則第12号）

この規則は、平成25年1月4日から施行する。

様式第1号（第4条関係）

（略）

様式第2号（第4条関係）

（略）

様式第3号（第5条関係）

（略）

様式第4号（第5条関係）

（略）

様式第5号（第6条関係）

（略）

2024(令和6)年度　刈谷市美術館年報

刈谷市美術館
〒448-0852
愛知県刈谷市住吉町4丁目5番地
Tel　0566-23-1636
Fax　0566-26-0511
HP　https://www.city.kariya.lg.jp/museum/